

成正寺 じょうし



本堂外観



本堂内陣

行田市は、埼玉古墳群がある埼玉県名発祥の地です。また忍城十萬石の城下町でもあって、人口八万五千の市に仏教寺院が六十カ寺ほどありますが、本願寺派寺院は成正寺だけです。

当寺は文政六年（一八二三年）松平忠克候が三重県の桑名から移封になった際、ここに本願寺派寺院がなかったため、家老職加藤大炊が開基賢随と協力して、新たに創建されました。

家老職加藤家の租加藤藤景義は、奥平信昌に仕えて居ったが、主君信昌が京都守護の任に就いた際、たまたま石田三成の残党の安国寺恵瓊が本願寺に隠れました。信昌はこの事によって、兵火が本願寺にかかること恐れて、加藤景義を使者として准如上人に勧めて、恵瓊を逐わさしめました。

この事から加藤家と本願寺との関係が生じ後年、忍に移封の際、加藤家のために成正寺の創立となった次第です。

爾来、一九〇年幾多の変遷がありました。真宗寺院の特色を發揮しながら、各種の教化活動を行っています。なお、昭和二十八年二月、境内に児童福祉施設「白鳩保育園」を設置して今日に至っております。



鐘楼堂